

また大戦中海軍気象部の依頼で航空機の塔乗員養成の教材用の雲の映画を作るため、あちこちで撮影され、それを整理中終戦となったので、後にこれをもとにして1本の文化映画を仕上げられた。

阿部博士の研究の進め方は、まずやってみるという行き方で、装置なども細かい所まできちんと整備してから始めるのではなく、動かしながら整備してゆくというやり方であった。それに伴い実験装置や器具についても色々の新しい着想が多い。特許をとられたものでは、阿部式自記ベンや地形日照儀等がある。

阿部博士はまた童心の世界を好まれた。それで昭和30年3月には西片町の元の阿部邸の一画に阿部幼稚園を設立、その園長となられ、なみなみならぬ熱意で園児の保育に当たられた。また博士がいわゆるテレパシーを信じておられたことも付け加えておく必要がある。昭和18—19年ごろ、富士山のまわりの観測所が共同して調査をすることを計画し、時々集まったことがあるが、富士山麓のどこかの旅館の暗い電灯の下で、「どぶろく」をくみ交しながら、遠くに離れた人と人との間にも瞬間的に通じ合う脳波(霊波)があるということを熱心に説かれた博士を思い出す。また戦後時々新聞や雑誌の記事になっ

た「空とぶ円盤」にも興味を持っておられた。

前にも記したように博士には野外の観測に出かけられるような機会がずい分多かったが、そういう場合のあまり快適とも思えない生活を少しもいやがられず、むしろ観測員とのわけへだてのない共同生活をかえて喜んでおられるようであった。博士を人に紹介する場合でも、「阿部伯爵」と言うのを好まれず、「雲の研究者の阿部さん」と言うのと御機嫌がよかった。

昨年秋ごろ博士御自身の雲の研究に関する思い出のあれこれを綴った原稿を脱稿され、出版の希望を洩らしておられたが、近ごろ某社で出版を引受けたということを知ったのはうれしい話である。またすでに整理して印刷になっているもののほかに、未整理のままに積んである雲の資料がかなりあることをいつも気にして、同学の人たちの役にたつような形にしておきたいと、時々洩らされていたとも言う。

御家庭は賑やかで、お子さんは男4人、女2人。お孫さんは計11人、一番上のお孫さんはもう結婚しておられるので、今少し生きておられれば曾孫を見られるところであったのに惜しいことであった。(島山久尚)

CALENDAR OF COMING EVENTS (after WMO Bulletin Vol. XV No. 2 April 1966.)

World Meteorological Organization

25 April - 9 May 1966	4th WMO/ECAFE Inter-Regional Hydrologic Seminar, Bangkok, Thailand
3 - 7 May 1966	WMO/IAMAP/COSPAR Symposium on Interaction between the Upper and Lower Layers of the Atmosphere, Vienna, Austria
12 - 17 May 1966	Executive Committee Panel of Experts for International Hydrological Decade, Geneva, Switzerland
16 - 21 May 1966	2nd session of the Working Group on Tropical Meteorology for the Caribbean, Central America and Mexico (RA IV), Mexico City, Mexico
23 - 27 May 1966	Working Group on Radiation (RA VI) Uccle, Belgium
26 May - 10 June 1966	Executive Committee, 18th session, Geneva, Switzerland
30 May - 9 June 1966	Scientific discussion of interaction between sea and air (during International Oceanographic Congress), Moscow, U.S.S.R.
13 - 15 June 1966	Executive Committee Panel of Experts on Tropical Meteorology, Tokyo, Japan
5 - 9 September 1966	WMO/IAMAP/SCAR Symposium on Polar Meteorology, Geneva, Switzerland
20 September - 1 October 1966	Technical Conference on Automatic Weather Stations, Geneva, Switzerland

Other international organizations

30 May - 9 June 1966	2nd International Oceanographic Congress, Moscow, U.S.S.R.
23 - 30 July 1966	1st International Symposium on Methods in Agroclimatology, Reading, U.K.
26 August - 2 September 1966	4th International Biometeorological Congress, New Brunswick (N.J.), U.S.A.